



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 20 2-03 4 2

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」

アジア会長主題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事主題 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」

東京西クラブ会長主題 「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう！」

2023年3月号

NO 558

すると、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二籠もあった。 新約聖書ルカによる福音書 9 : 16-17

CSの実行

神谷幸男

東京西クラブにあっては WHO 以外 CS 事業については事実上手に余る状況です。

ロシアのウクライナ侵攻は1年を経過し戦火は依然継続しています。戦火に見舞われた各地での難儀は TV その他で報道されていて目を覆うばかりです。隣国などに避難した人々は難民化しているようです。UNHCR は「周辺国に逃れたウクライナの人々の大多数は、女性と子どもです。彼女たちの置かれている苦しい立場を利用した搾取や人身売買など、避難を強いられた人々はさまざまリスクに直面しています。現金の給付支援は、一人ひとりがいまもっとも必要なものを選び購入することができるのと同時に、搾取のリスクの軽減にもつながる有効な支援の方法です」と訴えています。

また、2月6日にトルコ南部のシリア国境近くで起きたマグニチュード7.8の大地震で、被災者は約2,600万人、これまでにトル

コ・シリアあわせて死亡者は4万人以上と伝えられており、治療を要する負傷者はその何十倍にもなるでしょう。世界各国から物資、災害救助等支援活動が盛んに行われています。日本も活発支援が行われています。物資支援ばかりでなくプロの救援隊が派遣され瓦礫の中から助け出された人々のニュースを見ました。248時間ぶりに少女が助け出されとか、嬉しいニュースも飛び込んできています。

これらの支援活動を行っている団体、unicef、UNHCR、国境なき医師団等々の民間団体が支援活動するための資金の募金が行われています。我々個人的にはできない支援活動をこれらの団体に託しているようなものからこれらの団体への資金支援、募金に応募することは特に苦境にある避難者、負傷者救援に寄与することになります。これらの募金をクラブで行えばクラブの CS 活動の実績です。



クラブに新しい拠点候補

「三角マークのフラッグを立てたところが、われらの陣地」が25年前に杉並センターを失って以来のクラブの合言葉です。

このたび、JR 阿佐ヶ谷駅近くにオープンした阿佐ヶ谷地域区民センターは、例会、事務会会場として、その絶好の候補です。

場所は、駅から中央線ガード下の商店街を一直線に高円寺方面歩いた、突き当たりです。

風雨に強く、夜でも明るいのです。行き帰りに一休みも出来ます。中大プールの跡地で、会館の前はケヤキ公園となっています。各種集会室がそろっています。全国のワイズメンに一度は(以下p6へ)

クラブ役員

会長 高嶋美知子
副会長 吉田 明弘
書記 本川 悦子
会計 篠原 文恵
担当主事 横山 弥利

2月の記録			ニコニコ	8,900円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メ ネット	1人	クラブファンド	0円
出席者数 10人	コメント	1人	ファンド残高	114,715円
メーカーキャップ 1人	ビジター	1人	ホテ校ファンド	5,820円
出席率 91%	ゲスト	2人	ホテ校残高	49,070円
内 Zoom 参加 0人	出席者合計	14人	WHO 参加者	45人

3月合同例会のご案内

強調テーマ：CS、Green Project、
ワイズメネット受付 本川 悦子
司会 神谷 幸男

春分の日はもうすぐです。明るさも一段と増しました。何かと「希望」が感じられます。

3月は恒例の東京世田谷クラブとの合同例会です。久しぶりの友と会えることが楽しみです。

卓話には『風と共に去りぬ』の訳者、荒このみさんをお招きし、米国の歴史物語（アメリカン・サーガ）についてお話しいたします

日時：3月16日(木)18:30~20:30

会場：ウェルファーム杉並 03-5335-7330

会費：1,500円

担当：C班（神谷、河原崎、本川、横山）

HAPPY BIRTHDAY

21日 吉田 明弘 30日 小原 武夫

31日 大野 貞次

開会点鐘 高嶋美知子・東京西会長
ワイズソング（静唱） 一同

聖句朗読・祈祷 神谷 幸男

開会挨拶とゲスト・ビジターご紹介

高嶋美知子・東京西会長

小川圭一・東京世田谷会長

会食
卓話『風と共に去りぬ』を
読んだことはありますか？

荒 このみさん

ハッピーバースデー

両クラブ会長

ワイズ報告

両クラブ会長、各担当

YMCA 報告

両クラブ担当主事

ニコニコ

一同

閉会点鐘

小川圭一・東京世田谷会長

— 2月事務会報告—

日時：2月23日(木)16:00~18:00

会場：阿佐ヶ谷地域区民センター
集会室出席者：大野、河原崎、篠原、
高嶋、本川、村野、吉田

最近オープンした杉並区の施設を試用した

<報告事項>

①2月の会計報告を承認した。

②千葉ウエストクラブの参加によってヘキサゴンとなったDBC 締結式が東西日本区交流会会場で行われた。

③次々期あずさ部長候補を当クラブから推薦しないことについてメンバーの共通認識をもつために、神谷監事から招集があり、緊急クラブ協議会を2月15日夜、(株)高島・会議室で行ない、下記の決定が報告された。部長推薦は、慚愧に堪えないが今回は推薦を行えないこと、2月16日のクラブ例会で最終決定する。出席者：高嶋、吉田、村野、神谷。

④次々期あずさ部長推薦について2月16日の例会では行えなかった審議を本事務会で行い、推薦出来ないことを確認し

今月の卓話

荒 このみ(あら・このみ)さんから

『風と共に去りぬ』を読んだことはありますか？ 映画は何度も見たけれど、という方々が多いと思います。ハリウッド映画はヴィヴィアン・リーとクラーク・ゲイブルという美男美女の適役の役者を迎えて大成功しました。映画好きの作者マーガレット・ミッチェルも気に入ったようです。

それでも映画では、1037頁の原作の内容や作者の思惑の10分の1も表現することはできませんでした。ラヴ・ロマンスを中心にした映画では描き出されなかった、この作品の本当の意味はどこにあるのでしょうか。ミッチェルはこの大作で、「アメリカン・サーガ」、アメリカの叙事詩、アメリカの物語を創りだしたのです。

荒このみ略歴

東京外国語大学名誉教授。文学（博士）。

主要著書『風と共に去りぬ アメリカン・サーガの光と影』岩波書店、

『歌姫あるいは闘士 ジョセフィン・ベイカー』講談社

『マルコム X 人権への闘い』岩波新書

主要訳書 マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』全6巻

岩波文庫 レスリー・マーモン・シルコウ『儀式』講談社文芸文庫

長から、あずさ部長に報告し、推薦次順位のクラブに推薦を依頼することにした。

<協議事項>

①4月以降の卓話者候補の推薦を村野さんをお願いした。

②クラブ内の役割を皆で担う目的で例会担当班を決めてきたが、現行3班では無理があるので2班に課題を整理して見直したい。

3月以降の行事

・3月10-12日：ワイズメンズ国際協会設立100周年記念式典

会場：台湾

・5月13日(土)第3回評議会
会場：松本・6月3-4日：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区大会
会場：甲府市

(書記・本川悦子)



多国籍多文化の環境、支え合った仲間たち



ヘキサゴンDBC締結式後の記念撮影

国連での難民救援活動 ー 2月例会報告ー

2月16日(木)は、クラブの「Time of Fast (断食の時)」例会でした。国連特別難民弁務官事務所 (UNHCR) で活躍された浅羽俊一郎さん(埼玉)をお迎えして卓話をお願いしました。

(浅羽メンがアルバムを映しながら話されたこと) クリスチャンの母と外務省官吏の父の元に育ち、幼少から海外生活を体験し、旧制高校出の父の勧めで全寮制高校で3年間仲間と生活をともにした。大学卒業後、東京 YMCA で10年近く勤務した後、海外勤務をしないと、国際機関人事センターに相談し、修士の資格がないけれど YMCA での実務経験を認められ、UNHCR の面接をパス。初任地ペシャワール行きについては妻が乗り気で助かった。1年契約が続いたがチームワークや人への接し方など YMCA での学びが活かされていると気づいた。

国連人道機関の職員として体験した分野は、ペシャワールでのキャンプ難民の支援、ソマリア内戦下での安全対策、モザンビークでは国際機関間の協力、チェチェンの緊急支援隊、アフガン難民の帰還、ボスニアでは帰還民の再定住支援、ジュネーブ本部では主に資金調達、そして日本事務所(東京)では外務省対応、NGO との連携強化、企業・大学回りなど。

そしてパキスタンのクエッタ事務所長を最後に早期退職。大切にしている体験といえばパキスタンで初めて感じた「大地の上で確かに生きている」という感動、多国

籍・多文化の職場環境にありながら、同じ人道的価値観で口論もし、家族ぐるみで支え合った仲間、そして中村哲医師、緒方貞子さんなど私に影響を与えた数々の素晴らしい出会い。

今は、ワイズと地域活動を続けているが、新しい活動や素晴らしい人との出会いを体験している。また自分の人生に父母から受け継いできたものを感じ、私を支えてくださる神様に感謝している。

(語り忘れたこと) 東京勤務の最大の成果は関西学院大学が難民学生の受け入れを実現したこと。いまでは16大学が難民を受け入れている。(その時の経緯は「関学」「難民」「浅羽」で検索。)

(吉田明弘)

出席者：石井、大野、神谷、篠原、高嶋、本川、村野、横山、吉田、<メネット>神谷、<ビジター>浅羽俊一郎(埼玉)、<ゲスト>麻生由美子、大輪匡史

東西日本区交流会 語ろうワイズの未来!

ともに手をとる次の100年へ

- ・日時：2月4日～5日
- ・会場：ANA クラウンプラザホテル神戸

参加者数は参加者名簿によれば432人。今回のプログラムで良かったと思った点は、冒頭に行われた「奉仕活動団体フォーラム」。

ロータリークラブ(尾賀康裕氏)、ライオンズクラブ(浜原正豊氏)、キワニス(吉國真一氏)、ワイズメンズクラブ(田上正氏)の各氏が団体の概要、理念、活動方針等を話された後、上記4氏を

含む8人でパネルディスカッションが行われた。このような奉仕団体の活動が盛んになれば日本国が精神的に高度な国になる、と率直な感想。

3つの分科会のうち「Y's Song Fest」に参加した。プログラムは「高丸ホットシスターズ」(大阪なかのしまクラブの吉田由美さんが属する3人グループ)、「Backwoods Mountaineers」(大阪センテニアルクラブの芝田光雄さんが属するウェスタングループ)による数曲の演奏、そして「Let's Sing together!」。皆で歌う歌が3曲用意されていた。

区大会等のメンバーの多くが参集する場で、上記の様なメンバーが関わる文化的地域活動を公表することは良いプログラムであると思った。

閉会式の前にペンタゴン DBC に千葉ウエストクラブが加わる6クラブの DBC 締結式がもう1組の締結式の後に行われた。これからの呼称はヘキサゴン DBC となる。残念ながら今回は時間、場所的都合でヘキサゴン DBC 交流会は保留となった。

このような大会に3年ぶりに参加したが、旧友と久しぶりに会い、近況などを話し合うことは本当に楽しい。新しく名刺交換する人との交流も楽しい。

特に嬉しかったことは、5年前に西日本区大会でバンド演奏した前記芝田さんと出会い、5年前に一緒に撮った写真をスマホで見せてくれ、こんな写真もあったのかと一層話が弾んだ。

(神谷幸男)



明治神宮と新宿御苑

WHO 2月ウォーキング報告

明治神宮と新宿御苑は直線で500mほどですが、それぞれ渋谷区、新宿区にあるためか、ウォーキングコースとして1回で歩くことはまれです。今回、この大きな見どころを裏門同士でつなぎました。

大正時代に全国から献木、植樹された森は、もはや自然林の趣、まだ冬の表情の森と荒涼とした広い草原、池を眺めたい。

一方、園芸植物、花卉栽培の研究を目的に明治時代に生まれた新宿御苑は、今は国民公園として人々を楽しませていて、春の到来に先駆けて花々が次々に開花しています。

そんな落差を楽しみ、3月の花見につなげたいという思惑がありました。

JR 原宿駅、神宮の鳥居前に集まったのは45人。南参道を歩き出しました。ここは熊本藩加藤清正、彦根藩井伊家の下屋敷だったとのこと。森の深さを感じます。明治神宮御社殿を経て、西参道へ。休館中の宝物殿前の広大な草広場にはまだ緑が見えません。ショートカットして池に沿い橋を渡ります。ぽかぽか陽気です。

北参道の鳥居を出て、明治通と総武線ガードを渡ると、すぐ新宿御苑・千駄ヶ谷門でした。2種の咲き誇るスイセンの群生を観てから、苑のシンボルとも言えるプラタナス並木へ。ここで写真撮影。ここまでは順調。

昼食は、展望庭園の東部分の芝生で分散してとりました。ここで異変が起きました。陽光は暖かい

のですが、急に冷たい北風が吹き始めました。いつもは、食事を終えて集合時間になって、催促をしてもなかなか揃わないのに、この日は、集合時間前に集まってきました。何か動作に活気はありません。予定されたコースを歩ききるのはムリかも知れないと、新築されたミュージアムで御苑の歴史を見るなどして様子を見て、ここで解散して、自由散策とすることに決めました。今回の目玉と言える満開のカワヅザクラなど各種サクラ、フクジュソウなどを案内できなかったことは残念なことでした。屋根のある休憩所でまとまって昼食をとり、希望を聞いて対処すればよかつたとの反省がありました。

(吉田明弘) ワイズ関係参加者：中澤・藤江(東京たんぽぽ)、吉田(東京西)、関(元石巻広域)、坂田・佐藤(元東京西)

大名が愛した城南五山の花見 —WHO 3月定例会—

3月のWHOウォーキングは江戸時代には大名に、明治以降は政財界人に愛された、城南五山の桜を観ましょう。城南五山はJR山手線の品川駅から目黒駅の内側にある高台です。何れも標高30m未満の低山ですが、出発地点の標高30mほどですからあなどれません。

期日：3月25日(土曜日)

集合・出発：JR山手線五反田駅

西口改札前 10:00

コース：JR山手線五反田駅—ねむの木庭園—池田山—池田山公園—島津山(未定)—御殿山(御殿山庭園)—八ツ山—JR品川駅

解散：JR品川駅 14:30頃

携行品：名札、マスク、健康保険証、弁当、飲料

参加費：300円、交通費、入場料などは各自負担。初参加の方は、名札代200円。

YMCA Today

■新2年生の就職戦線スタート！ホテル学校では本格的な就職活動対策セミナーと学内企業説明会が始まりました。自己PRや志望動機など自己分析の相談が急増中です。コロナウイルスの影響から回復するホテル業界の採用意欲は非常に積極的です。

■「東日本YMCAスタッフ研修会」が1月24日～25日に開催。東京YMCAからは2人が、東日本の各YMCAからは約30人のスタッフが参加。差別、人権、多様性をテーマに、ヘイトスピーチでも話題となった神奈川県川崎市を訪問し、三浦知人氏(社会福祉法人青丘社理事長)から話を聞いた他、金迅野牧師(在日大韓基督教会横須賀教会)を講師にキリスト教の学びを深めました。各YMCA総主事からのリレートークなど、良い交流の機会となりました。

■「第17回子育て講演会」が1月28日にオンラインで開催。講師の大豆生田啓友氏(玉川大学教育学部教授)より「いまだきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ」をテーマにお話しを伺い、子育て中の保護者を中心に約200人が参加し好評でした。子育て講演会実行委員会(会員有志)が企画・運営を担い、25の企業・団体より協賛をいただきました。

■いじめのない世界を目指すキャンペーン「ピンクシャツデー」が今年2月22日に設定され、全国のYMCAで様々な取り組みがなされ、高等学院でワークショップを企画した他、各部署でピンク色の服を着るなどアピールをしました。

■「東京YMCA全体職員研修会」が2月23日にオンラインで開催。約300人の職員が参加し、菅谷淳総主事より2022年度の事業報告、5つの事業部から日常の業務や取り組みの紹介が行われ、法人や部署を越えて東京YMCAの働きが共有されました。

担当主事 横山弥利

☆☆インタビュー☆☆115☆☆
権藤 徳彦さんに聴く
 東京コスモスクラブ



—いきなりですが、権藤さんのお生まれは。

「1936年(昭和11年)父の派遣地朝鮮半島で生まれ、終戦の1945年8月15日直後の9月初旬山口県仙崎港に軍用上陸用舟艇で初めて母国の地を踏み、母の実家の福岡市に落ち着きました。小学3年でした。父は今で言えば国家公務員(通信官吏)で、すでに3歳の時他界。母の亡き後、熊本、鹿児島など九州で小学、中学、高校と転校を経験しました。各地の方言、訛り、風土や風習などに出会う毎日で、泣き笑いもありましたが、今思えば楽しんでいましたね。どれひとつ後で役立っていないものはないと感じています」

—子どもの頃は。

「体質的には、小児喘息があり、春・秋の気候の変り目はよく発作で苦しみました。身体の成長と共に消えました。成長することに希望を托すことの大切さを実感しています」

—どんな遊びが盛んでした。

「子ども達も食物不足の時代でしたから川や森が絶好の遊び場であり、実りの食べ物や何かを発見するチャンスでした。魚を採りたい時は、先ず山で餌の昆虫を採り川で釣っていました」

—小学校の頃、勉強は。

「何についても好奇心がありました。やって見ないとわからない、という感じでした」

—中学、高校のクラブ活動は。

「テニス、ラグビー、バスケが好きで、水泳は苦手でした。」

—将来について、どんな夢を持たれていましたか。

「今から思えば、“敗戦ニッポン”が悔しかった。敗けた技術は“原爆”。そこで、原子力工学系を志望しましたが、その時、日本には第1号機(東海村)が稼働直後の状況でした。就職は体力、諸事情で同期に4年遅れ。工学部はナイロン・テトロン(化繊)の原料の石油コンビナートが先端業界の頃でした。業界違いの製薬会社に誘われて、就職できました。日本がようやく海外への生産技術輸出に動き始めた頃です」

—製薬関係に就職されましたか。

「武田薬品でした。工学部卒なので薬効系や薬物開発系ではなく、製造薬物の化学的・分析系と製造部門技術に関わり、いくつかの海外工場で技術指導や後に台湾で合弁会社経営も務めました」

「仕事ではメキシコ工場に始まり、7か国、退職後も含めると20数か国を訪問しました。各地のワイズメンの奉仕と友情こそ平和の宝と感じています。2000～2003年アジア太平洋地域・MC事業主任の役割を通して学んだことです」

—ワイズに入会されたのは。

「確か、1994年頃に東京まちだクラブ景山允男さんから職場に電話をもらい、外で会って誘いを受けました」

—日本区時代、南東部でしたか。

「そうです。1997年に東日本区東新部になりました」

—権藤さんは、いきなりトップギアで走り出された印象がありました。以前からYMCAなどとの接点があったのですか。

「大学時代、学生YMCAの花陵会に居住して、熊本YMCAのキャンプリーターなど少年部活動をしていました。その後全く交流は無く、定年直前に景山さんから一声で繋がりました」

—すぐ、同じ町田の東京コスモスクラブにチャーターメンバーとして移籍されましたね。東京まち

だクラブ、東京コスモスクラブのワイズメンは、YMCAの活動のプログラム企画や推進の大きな働きをされてきました。東京YMCA町田センターが経営的に一番苦しい1997年にメンバーが手分けして入力して、『生きがい論文集』を発刊されました」

「担当の沖利柯主事が福祉指向でした。町田の両クラブには福祉関係の仕事のメンバーが多く、うまく絡みあいました。その後、職員・リーダー・拠点もない形で、YMCA運動を続け、“わくわく！科学実験室”や、玉川学園夏祭りバザー出店や、“ベテランティア・フォーラム”(人生のベテラン中高年ボランティア活動スタート講座)、メンバーが講師、スタッフを務め、私もディレクターとしてCS/Yサの実践の場となりました」

—どのプログラムも継続するかどうか、本当に苦しい時に、「始めた者には責任がある。最後まで責任をもたなくてはいけない」という権藤さんの口癖に励まされたという人の話も聴きました。

「今は、“その義を行い、その利を計らず、その権(ちから)を享け、用いてその功に致す”のワイズ mottoの中国語表現に希望を頂いています」

—現在のお仕事は。

「私的には整理整頓をしなければと言われていません。なかなか実行できません」

—ワイズの魅力は。

「『率先、黙して、助ける人を助ける人に出会う感激』故茅野哲郎ワイズ(東京クラブ)のお姿でした」

—でやりたいことは。

「東日本区として、新潟、秋田、山形、青森各県に、新クラブを！を目指してキャラバン隊で出かけたい」

—座右の銘などは。

「中学の卒業の時に黒板に“七転び八起き”と書きました。今は、“つながる”です」

—有難うございました。(吉田明弘)

気分転換は料理③

胡麻と胡桃

村野絢子

ごまとクルミ？ 全然ちがうよ。確かに。ところがよく似ている。

ほうれん草、小松菜、春菊のごまとえ、同じくクルミ和えにもなる。但しゴマは刻むか、するかして香りを出す。クルミはやはり刻む。ごま団子・ごま餅、同じくクルミ団子・クルミ餅、いいですね。

キャベツのサラダに刻んだクルミをまぜ、ごまドレッシングで合える。色どりにトマトとアスパラを乗せて、あら一品出来上がり。ごませんべいは塩味、チョコにクルミの入ったブラウニーは甘い。ごまは小さく1gで約300粒クルミは大きい。から無しクルミ、

1個4gある。

食品成分表で、正味、ごま100gクルミ100gで比べてみる。

エネルギー	ごま 578kcal	クルミ 678kcal
水分	ごま 4.7g	クルミ 3.1g
蛋白質	ごま 19.8g	クルミ 14.8g
脂質	ごま 51.9g	クルミ 68.7g
炭水化物		
糖質	ごま 15.3g (リノール酸)	クルミ 10.3g
繊維質	ごま 3.1g	クルミ 1.0g
ミネラル		
カルシウム	ごま 1200mg	クルミ 85mg
リン	ごま 540mg	

	クルミ 280mg
鉄	ごま 9.0mg
	クルミ 2.6mg
ビタミンA (カロチン)	
ごま 17μg (マイクロ千分の1)	クルミ 29g
ビタミンB	ごま 0.95mg
	クルミ 0.28mg
ビタミンB ₁	ごま 0.25mg
	クルミ 0.15mg
ビタミンE	ごま 1.3mg
	クルミ 2.4mg

ごまは優れた食品だが、皮が固く消化されないので、刻むか擦って使用する。

クルミは輸入品が多く、いつでもどこでも手に入るとは限らず、見たら買っておくとよい。ごまとクルミはどちらも引けを取らないミネラル豊富な栄養価の高い食品と言える。

千葉クラブ・千葉ウエスト
クラブ訪問記

神谷幸男

千葉ウエストクラブへはヘキサゴン DBC 締結直後の例会に参加するつもりでいたところ、2月例会は千葉クラブとの合同例会であるとのことで、2月18日(土)18:00~20:00、会場千葉YMCAに赴いた。

例会はリアルとハイブリットで行われ、千葉ウエストクラブの2人の参加があってリアル14人ハイブリット3人の参加者があった。千葉ウエストクラブのメンバーにはリアルで高田さんと長尾さん、ハイブリットで内田久昭さんと吉崎勇さん(このお二人とは会話できず)にお会いすることが出来た。初めてお会いする千葉クラブのメンバーとも会話ができ楽しかった。昨年10月に続いて2月のWHOに参加したいと言っていた。

この日の卓話は「アマチュア天文家の愉しみ」と題して佐藤健さんのお話。佐藤健さんは元杉並ブランチ担当であり、元東京西クラ



合同例会での記念写真

ブの担当主事でもあって久しぶりの再会であり例会後しばらく歓談できた。

千葉ウエストクラブの例会定例会場は船橋で少々遠方にあるのでお互いに訪問するには難があるが、これからも交流を深め合いたいと思う。(神谷幸男)

(p1クラブの新拠点候補から)来ていただきたい会場です。現在、クラブは原則として、例会・事務会会場としては、2018年から杉並区の施設、「ウエルファーム杉並」を使用しています。駅からバスで3停留所乗るのが難点で、ゲスト、ビジターには申し訳ないのですが、太宰治ゆかりの地であり、歩いて8分ですし、5年間の接

触で会場スタッフとも互いに気心が知れ、使いやすい状況です。

現在、事務会には早稲田の山手YMCAを使用しています。ここは時間的に遠くなるメンバーも多いのですが、普段YMCA活動に接する機会の少ないメンバーにとっては有益ですし、東京サンライズクラブ、東京たんぽぽクラブとの接触の機会も大きなメリットです。

ワイズの例会は、自分たちは当然と思っても、新しい会場に適合するかどうか、これからの検討課題です。しばらく併用した上で、事務会で協議して決定することになります。

編集後記

自然は3月になって明るくなりましたが、人間社会は相変わらずコロナだ、戦争だ、震災だ、と明るくなりません。もう少しの辛抱でしょうか。でも明るくするのは私たちなのですからワイズ活動を通して頑張りましょう。原稿をお寄せ下さった方々のお蔭で発行することが出来ました、有難うございました。(SK)